

ALSOプロバイダーコース

旭川医科大学 2019

旭川医科大学産婦人科

「周産期医療支援及び若手育成基金」



ALSO (Advanced Life Support in Obstetrics) とは、医師やその他の医療プロバイダーが、周産期救急に効果的に対処できる知識や能力を身につけ、発展・維持するための教育コースです。1991年に考案され、1993年に米国家庭医学会 (AAFP) によって認可され、現在、全米のほとんどの分娩施設において、分娩に関わる医療プロバイダーがALSOを受講することが義務付けられています。

また、ALSOコースは世界的に普及活動が行われており、2009年までに50カ国以上でプロバイダーコースが開催され、10万人以上がALSOコースを完了しています。日本では2008年に金沢大学の周産期医療専門医養成支援プログラムグループが、米国家庭医学会 (AAFP) から日本でのALSO セミナー運営権を取得し、2008年よりプロバイダーコース、インストラクターコースを開催しており、2018年12月までに国内開催数は400回を越え9331名がプロバイダーコースを取得されています。

ALSOコースは、シラバス (教科書) を用いたレクチャー、実地訓練のためにマネキンとシミュレーターを使用したワークショップ、コース終了時に行われる筆記試験、マネキンによる実技試験 (メガデリバリー) から構成されています。

ALSOコースの内容は補助経腔分娩、肩甲難産、分娩後異常出血、妊婦蘇生など様々な状況における産科救急の対処法を中心としていますが、出産前のリスク評価、妊娠初期・中期・後期の性器出血、妊娠合併症、出産危機における両親のサポートなど、マタニティケアに必要な要素がすべて含まれています。

プロバイダーコースを完了し、試験に合格すれば5年間有効の認証を受ける事が出来ます。

本コースは旭川医科大学の「周産期支援及び若手育成基金」

(<http://www.asahikawa-med.ac.jp/dept/mc/gyne/donation/index.html>)を元に開催します。

北海道さらには日本における周産期医療を再考するよい機会になることを期待し、当基金の活動にご賛同いただいた方を中心に、北海道はもちろん全国から受講者を公募いたします。多数のご応募・ご参加をお待ちしております。

主催：旭川医科大学産婦人科「周産期支援及び若手育成基金」

日程：2019年9月7日(土)～9月8日(日)

会場：旭川医科大学 看護学科棟4階

定員：20名 当基金にご寄附いただいた方・ご寄附予定の方で公募あり

受講料：学内 40,000円以上の寄附 学外 43,000円以上の寄附

(寄附金はふるさと納税と同様に、収入に応じて所得税・個人住民税の控除の対象となります)

申し込み方法：Googleフォーム <https://forms.gle/ipdSZxM46BqZ8cYd9>

募集期間：2019年6月10日(月) 17:00～2019年6月28日(金) 17:00

受講に際して

- ・受講生はランチョンセミナーも必修受講となるため昼食時に外出ができません。
- ・受講者全員にお弁当をご用意します (当日支払い,2日で2000円の予定)

〒087-8510 北海道旭川市緑が丘東1条1丁目

TEL:0166-68-2562(産婦人科医局)

FAX:0166-68-2569(同上)

担当：金井 麻子

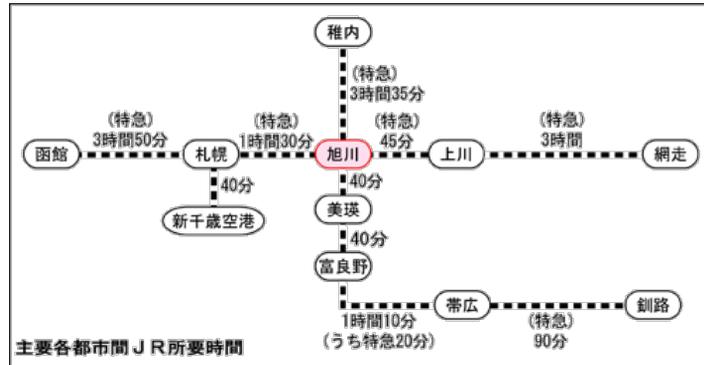
asakana@asahikawa-med.ac.jp



旭川への 交通案内

JR新千歳空港駅

○:15発の快速エアポートにのり、
 ○:54くらいに札幌駅について
 ○+1:00発の特急カムイ/ライラックに
 慌てて乗り換え、
 ○+2:25にJR旭川駅に着きます。
 便は少ないですが、旭川空港を利用
 した方が便利です。



旭川駅～医大
 約20分 (タクシー約2000円)
 旭川空港～医大
 約20分 (タクシー約3500円)
 旭川駅～旭川空港
 (タクシー約4000円)

「バスキタ！旭川」
 (asahi.buskita.com)
 というサイトで
 時刻・バス乗り場・
 待ち時間を検索できます
 旭川駅前(旭川駅周辺)
 ～医大病院前
 71・80・81番
 Suicaは使えません！

旭川空港

旭川医科大学
 ASAHIKAWA
 MEDICAL
 UNIVERSITY

